



学校だより

2020年4月15日
No.1
射水市立堀岡小学校
校長 佐藤 静香

令和2年度スタート 明るく元気な なでしこの仲間たち

陽春の候 保護者の皆様、地域の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、4月6日(月)に始業式、また7日(火)には入学式を行いました。連日、新型コロナウイルス感染症に関するニュースが続く中、新入生児童21名を迎え138名の児童で無事、令和2年度のスタートを切ることができましたのも、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様のご支援、ご配慮があったからこそと感謝しております。今年度も教職員一同、どの子ども「学校に来ることが楽しい」と感じる堀岡小学校を目指し、精一杯努めさせていただきます。皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



始業式では、「なりたい自分を見付け、その達成のためにはどうすればよいか考え、どんどん実行に移してほしい」と呼びかけました。そこでまず「なりたい自分」を見付けるために、互いのよさを見付け合ったり、素敵な姿に触れあこがれる気持ちをもったりする機会を大切にしていきたいと考えています。さらに、それらの基盤として本年度も「命」「人」「一生懸命」の三つのことを大切にする約束をしました。

「よさ」や「あこがれ」の思いを自分の生き方につなぎ、たくましく生きる子供たちの姿を願い、堀岡小教職員がワンチームとなって取り組んでいきたいと思っております。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

4月7日(火) 入学式

4月7日(火)、21名のかわいい新入生を迎えました。背筋をしゃんと伸ばし、広い体育館へ入場する姿は、緊張感の中にも1年生としてがんばろうという意気込みを感じさせるものがありました。しっかりと目を見て式辞を聞いている様子や担任からの呼名に大きな声で返事する姿も大変頼もしかったです。

在校生代表として、6年生の織田唯莉さんが歓迎の言葉を述べました。他の上級生はそれぞれの教室で校内テレビの放送を見て式に参加しました。新2年生の教室では「ぼくたちも一年前あんなふうにお返事していたね」など、一つ上のお兄さん、お姉さんとしての自覚を高めている場面も見られたそうです。体育館で一堂に会することはかないませんでしたが、どの学年も新しい仲間を応援する気持ちは一つです。

式の後、記念写真を撮りました。みんな元気な表情で写っています。これからの6年間、他の学年や教室の友達と仲よく楽しく学校生活を送り、健やかに成長してほしいと願っています。



教職員の異動の紹介

令和元年度末で教職員5名の転退職がありました。昨年度は3月末のお別れの式を行いませんでしたが、教職員から感謝の気持ちをお伝えし、花束を贈呈しました。転退職された方は次の通りです。

石浦 真治 教頭 (作道小学校へ)	野口 敬子 (大島小学校へ)
大道 絵美子 (片口小学校へ)	開 真唯 (歌の森小学校へ)
西尾 頼子 (退職)	

また、4月6日(月)には始業式に先立ち、転入教職員の新任式を行いました。校内テレビの放送で行った式でしたが、新任者の挨拶からは、堀岡小学校の子供たちと共に学び、共に成長したいという熱い気持ちが伝わってきました。どうかよろしく願いいたします。



池田 亨 (いけだ とおる)	教頭	塚原小学校より
澤野 豊 (さわの ゆたか)	教諭	太閤山小学校より
津田 泰希 (つだ たいき)	教諭	中太閤山小学校より
市村 光代 (いちむら みつよ)	教諭	富. 光陽小学校より
浜谷 ひかり (はまたに ひかり)	教諭	大門小学校より
越後 三佳子 (えちご みかこ)	教諭	作道小学校より
茅野 哲博 (かやの てつひろ)	副主幹	高. 横田小学校より



さらに今年度は、下記の皆さんも新しく子供たちの学習や成長を支援してまいります。

杉森 奈々 (すぎもり なな)	音楽科専科
アイヴ・ゲンシャガン	ALT
神嶋 直美 (かみしま なおみ)	外国語活動指導員
村田 己智子 (むらた いちこ)	SC
森 香苗 (もり かなえ)	SSW 射北中学校区担当
白沢 妙 (しらさわ たえ)	外国人相談員



昨年度末に引き続き、始業式や入学式が、通常とは異なったもち方になりました。新型コロナウイルスの猛威は、今や全世界に大きな影響を与えています。富山県や射水市でも例外ではありません。大変残念なことではありますが、学校も24日(金)まで臨時休校となりました。また、行事においても学習参観や運動会をはじめ26日(日)の資源回収等、1学期に予定されていた多くの行事が中止・延期となりました。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

いつになればこれまでのような暮らしが戻るのか見通しのない中ではありますが、自分たちが何をすべきなのか、どんな行動をとることが必要なのか、一人一人が冷静に判断することが大切といえます。様々な意見や考え方のある中で、命や健康、そして心や人権等、守るべきものを見失わないようにしていきたいものです。

学校では、手洗い、うがい、換気、マスクの着用、児童下校後の机椅子の除菌等、できることをしっかりと行い、感染を防いでいきます。また、今後どんなふう支援すれば子供たちが自分で生活をコントロールし自学を工夫できるようになるのか、周り協力して困難な課題を解決できるようになるのかなど、「たくましく生きぬく力」を育てていくよう努めていきたいと考えています。ご家庭でも、この困難な状況をどうすればよいのかなど、親子で話し合う機会をもっていただければと思います。よろしくお願い致します。